

北の志づめ

第224号

令和6年1月



初詣

開拓の群像 アイヌコタンを守り抜いた医師 高橋房次 合田 一道氏

円山地域の生物 空飛ぶ哺乳類 コウモリ

札幌市円山動物園
動物専門員 石井 亮太郎氏

<http://www.hokkaidojingu.or.jp/>



えと鈴(辰)

北の志づめ 第224号 令和6年1月1日発行

〒064-8505 札幌市中央区宮ヶ丘474 電話/011-611-0261 FAX/011-611-0264 北海道神宮社務所

ご挨拶

宮司 間島 誉史秀



明けましておめでとございます。
皇紀二、六八四年、令和六年甲辰の新玉の年を迎えるに当たり、皇室の弥栄とわが国の安泰、ご崇敬の皆様様の平安を心よりお祈り申し上げます。

さて、皆様ご承知の通り、当神宮の創祀は明治の御代に遡ります。当時の国内情勢は、ロシアの南下政策により緊張が増しており、また、開国間もない時期でもありましたので、富国強兵を国是に掲げた明治政府は、近代化を図るための多くの資源を求めておりました。そこで重要視されましたのが北海道、当時の蝦夷地の開拓でした。

北海道の開拓は、明治天皇様の聖旨を戴き、明治二年より本格的に始められました。それに先立ち、明治天皇様の詔により、同年九月二日、東京の神祇官に於いて、開拓の守護神として開拓三神をお祀りし、「北海道鎮座神祭」が斎行されましたが、その折の御霊代を当神宮はお祀り申し上げますので、この「北海道鎮座神祭」が、当神宮の創祀となります。

明治天皇様は、北海道の開拓に特に御心を注がれ、お自ら明治九年と十四年の二度に互り、遠路北海道を巡幸されて、開拓の進捗状況を具に御覧になり、道内の殖産興業を、奨励にされました。

私共の先人たちは、明治天皇様の尊い大御心を仰ぎつつ、開拓に日夜精励されましたが、近代日本の礎を築かれ、北海道の開拓に、殊の外御心を寄せられました明治天皇様を、是非とも北海道の地に奉祀申し上げることを願い、その道民の長年に互る宿願は、昭和三十八年六月六日に、昭和天皇様の上聞に達し、昭和三十九年十月五日、明治天皇様を当神宮(当時は札幌神社)に御増祀申し上げることとなり、同時に、社号も従来の「札幌神社」から「北海道神宮」に改めることとなりました。

本年は、その記念すべき日から数えまして、六十年の佳節を迎えます。当神宮では、当日の十月五日、明治天皇御増祀六十年式年大祭を斎行致しますが、これを機として、明治天皇様が北海道に寄せられました御聖恩を改めて敬仰申し上げ、わが国の繁栄と北海道の更なる発展と隆昌を期して、今後とも協心努力して参ることをお誓い申し上げたいと存じます。

さらに、本年は、北海道開拓の父と称えられる開拓判官島義勇大人が明治七年四月十三日に、神去りましてより、百五十年の年でもあります。当神宮にお越しの節は、そのご事績に思いを致しつつ、島義勇大人の御神霊がお祀りされております末社開拓神社に、是非ともお参りを頂ければと存じます。

結びにご崇敬の皆様には、本年につきましても、当神宮に格別のご崇敬とご高配を賜りますようお願い申し上げますと共に、御祭神のご加護のもと、新しき年が輝かしく佳き年となりますことを、ご祈念申し上げます。年頭のご挨拶と致します。

祭典行事案内

毎月「二日」

月首祭並吟詠講誕生祭

一日参り(※一月・九月を除く)

「十日」

旬祭並敬神婦人会誕生祭

「十五日」

月次祭並むすび会誕生祭

「二十日」

旬祭並興風会献詠祭

◆一月 一日(月) 午前七時 歳旦祭

三日(水) 午前九時 元始祭

七日(日) 午前八時 昭和天皇祭遙拝

十四日(日) 午前十時 古神札幌納祭

(どんと焼き)

二十二日(日) 午前十一時 祈請祭

◆二月 三日(土) 午後三時 節分祭

十一日(日) 午前十時 紀元祭

十七日(土) 午前十時 祈年祭

二十五日(金) 午前十時 天長祭

正午 第十二回新成人寒中禊会

◆三月 二十日(水) 午前九時 春季皇霊祭遙拝

二十四日(日) 午前十一時 入学祭

午後二時 入学祭

頓宮 札幌市中央区南二条東三丁目

毎月「二日」

月首祭並一日講社誕生祭

(※一月は午前十時)

◆一月 一日(月) 午前十時 歳旦祭並

一日講社誕生祭

十四日(日) 午前十時 古神札幌納祭

(どんと焼き)

◆二月 三日(土) 午後五時 節分祭

※予定は変更となる場合がございます。
最新の情報は公式ホームページをご覧ください。

特集
がんばれ！北海道
開拓の群像特集
 合田 一道

歴史から見えるもの ⑥⑤

アイヌコタンを守り抜いた医師 高橋房次

「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律」、略し



高橋房次

「アイヌ新法」が令和元年(二〇一九)に施行され、アイヌ民族は先住民族と位置づけられ、共生社会を目指して動きだしました。白老町ポロト湖畔には民族共生象徴空間、愛称「ウポポイ」が誕生し、今年で五年目を迎えました。

でもこれまでのアイヌ民族の暮らしは、差別と貧困に晒された酷いものでした。ここに紹介する高橋房次医師は、白老町でアイヌ民族の健康を守り抜いた人物なのです。

高橋房次は明治二五年(一八八二)、栃木県下都賀郡間々田村(現在の小山市)の農家に生まれました。父の友四郎は働き者、母のテイ

は村でただ一人の助産婦で、出産のたびに outcomes を取り上げたうえ、自分で作ったおむつを与える情け深い女性でした。

幼い房次に「大きくなら、人のためになる人間になりなさい」と言いました。



房次が勤めた白老土人病院(古写真)

地元の小学校を卒業した房次は、栃木県立中学校から東京慈恵医学専門学校に進みます。母の言う「人のためになる人間」になる道こそ、医師への道だったので。

明治三六年(一九〇三)三月、同校を卒業して医師の資格を得ますが、翌年、日露戦争が起これ、陸軍輸送部隊付きの軍医として従軍し、戦争の虚しさを肌身で知ります。

その後、警視庁検疫医院に勤務し、明治四二年(一九〇九)、青森県の町立田名部病院長になります。まだ二七歳の若さでした。患者たちはだれもが貧しく、何かあると「先生、先生」と頼つて来ます。房次は、病を治すのは医師の務め、みな同じ人間、金持ちも貧乏人もない。

向き、明け方戻った時は雪まみれで、妻が「雪だるまが歩いてきたよう」と言つたそうです。

昭和七年(一九三二)、白老市街から二四キロも離れた森野地区に開拓者の団体が入植し、房次は道庁から委嘱されて拓殖医を兼務します。週二回、現地の小学校に設けられた臨時診療所に行くのですが、山道にはクマが出没するのです。ここでも房次は往診料はもとより薬代も取りません。「道庁から手当てを貰っているから」が理由ですが、実際は、自分の給与で医療品などを購入していたのです。

昭和八年(一九三三)、房次は念願だった千島の色丹島に渡り、千島に住むアイヌ民族の実態調査を行い、貴重な「千島アイヌ論」を執筆、出版しました。

房次はその後、白老でコタンの救い主と呼ばれて、戦争を挟んで昭和三四年(一九五九)まで四〇年間、毎日毎日、診療を続けました。すでに七七歳になっていました。



高橋房次著「千島アイヌ論」

医療に差別などないとの信念で診療に当たつたので、評判は高まりました。

ここで房次は、津軽海峡を越えた北海道のアイヌ民族が、医療に恵まれない暮らしをしていると聞き、大正十一年(一九二二)、家族を連れて日高管内新冠村に赴きます。村医として七年間、働きますが、アイヌ民族の暮らしは想像を絶する酷さでした。

その後、「北海道旧土人保護法」に基づき、胆振管内白老村に道庁立土人病院が新設され、院長を命じられて、家族とともに赴任します。土人病院！？酷い表現ですが、当時はこんな差別言葉が使われていたのです。

白老は古くからアイヌ民族が多数住んでおり、和人之との交易場所があり、安政三年(一八五六)には仙台藩が陣屋を置きました。維新後の明治五年(一八七二)に開拓使出張所や官



診察する高橋房次



高橋房次胸像＝白老アイヌ公園(白老町高砂町2丁目2)

この年、文化の日の十二月三日、房次に北海道文化賞が贈られました。ほぼ同時に町民による功績顕彰会が結成され、基金により房次医師の胸像が制作され、同年暮れ、白老小学校校庭に設置(以後、アイヌ公園に移設されたのです。房次は感涙にむせびました。

房次が亡くなったのは翌昭和三五年(一九六〇)六月二九日、七九歳。葬儀は白老町葬により行われ、葬列は延々四百メートルに及びました。房次の霊はいま、アイヌの墓標と並んで眠っています。

◆プロフィール◆

昭和九年(一九三四)、空知郡上砂川町生まれ。北海道新聞に入社し、道内各地を回る。在職中からノンフィクション作品を発表。『定山坊行方不明の謎』で北海道ノンフィクション大賞を受賞。退職後は札幌大学文化学部講師。著書は『日本史の現場検証』『人間登場―北の歴史を彩る』『大君の刀』など。

房次の熱心な態度に、アイヌの人たちが少しずつ病院にやってくるようになりました。体調が悪いと連絡が入ると、房次は真夜中でも出向いて診療します。でも往診料など一切とらないのです。それどころか食料や菓子を土産として手渡すのです。吹雪の真夜中、四キロ先の農家から迎えがきた時も、すぐに出

空飛ぶ哺乳類

コウモリ

札幌市円山動物園

動物専門員 石井 亮太郎

日本には約三七種のコウモリが生息しており、北海道だけでも約二〇種のコウモリが分布しています。札幌市だけでも、約二六種のコウモリが確認されており、実は多く



夜になるとナイトルースト(採餌中の一時的な休憩)する姿が見られる
写真はクロオオアブラコウモリ

のコウモリが住む地域でもありません。

しかしながら、北海道でコウモリを見たことがある方は少ないことでしょう。本州ではアブラコウモリが広く分布しており、薄暗い時間帯から家の周りを飛ぶことから、目にする機会が多いかと思えます。北海道ではアブラコウモリは南部のみに生息しており、札幌市でもコウモリを目にする機会は少ないでしょう。そんなコウモリですが、実は身近にいる動物でもあるため、コウモリがどんな動物かご紹介していきます。

コウモリは哺乳類の仲間です。鳥と間違えられますが、ヒトと同じく子を産み母乳で育ちます。そして哺乳類で唯一飛ぶことができます。モモンガやムササビも飛んできますが、彼らは滑空飛行を行っており、自由自在には飛ぶことができません。

世界にいる哺乳類約六五〇〇種のうち、コウモリの仲間は約二三〇〇種もいます。食性は、昆虫食や果実食の他、魚、カエル、花粉などとても多様です。日本には昆虫食と果実食のコウモリが生息しており、琉球列島や小笠原諸島に生息するオオコウモリの



〈休息中のクロオオアブラコウモリ〉
数センチの隙間でも入ることができる 写真はクロオオアブラコウモリ

仲間はこの果実食にあたります。ですので、北海道に生息するコウモリは昆虫食のみとなります。コウモリといえば血を吸う、といった印象がありますが、約二三〇〇種いるうちの三種しか存在しません。

昼間寝る場所も様々で、洞窟や樹洞、橋の下や葉の中など利用しています。本州ではアブラコウモリが屋根裏などを利用することで、糞尿による被害もあります。



〈コウモリの飛膜〉
各指の間に膜があり、これを使って羽ばたいている

円山動物園では、北海道の野生動物保護事業の一環で、コウモリ調査を行っています。主に円山動物園内でねぐら調査や捕獲調査を行い、どの種がどのようにに生息しているのか調査研究をしています。また、北海



〈円山地域に生息するコウモリ紹介〉
ヤマコウモリ ヒナコウモリ科ヤマコウモリ属
クロオオアブラコウモリ ヒナコウモリ科オオアブラコウモリ属

道では札幌を含む数カ所では確認されていないクロオオアブラコウモリは、発見例も少なく特に生態が分かっていない種類です。そんなクロオオアブラコウモリですが、園内でほぼ通年利用している場所があり、冬眠サイクルや年間の体重推移などを調査しています。また、このクロオオアブラコウモリを円山動物園で飼育し、飼育下でしか得られない知見の集積も行っています。展示も行っており、円山動物園のどきんこの森にてご覧いただけます。



〈ヤマコウモリ〉
ヒナコウモリ科ヤマコウモリ属
生態：日本に生息している昆虫食のコウモリなかでは最大種。翼を広げると40cmほどにもなる。ねぐらは主に樹洞で、特に高樹齢の大木で見つかることが多い。

コウモリは夜行性で体が小さく、出す声は人には聞こえない超音波のため、調査が行き届いておらず、多くのコウモリは生態がよくわかっていないのが現状です。身近にいるけれど、知るきっかけがなければ、興味を持つきっかけがなければ、恐らく触れることのないコウモリの世界が、私たちのすぐそばで繰り広げられています。
興味深い生態をたくさん持った魅力ある動物ですので、是非コウモリの世界に足を踏み入れてはいかがでしょうか。

社頭風景

九月〜十一月

神嘗奉祝祭並びに年番引継祭齋行



講旗授与






引継式

伊勢の神宮では年間で千五百回に及ぶ祭事が行われています。その中でも最も重要とされているのが毎年十月十七日に行われる神嘗祭です。この神嘗祭とはその年の新穀を最初に天照大御神にお召し上がりいただき、その御恵に感謝する祭典です。北海道神宮からもこの祭典に併せ、神饌田でとれた稲穂をお送りしております。

北海道神宮では当日、神嘗奉祝祭が厳粛に齋行されました。また、併せて齋行された年番引継祭では、第十六桑園祭典区山内睦夫副講長より敬神講社旗が返還され、間島宮司より次年度新年番となる第十八円山祭典区三上恒講長に授与されました。祭典終了後、本殿にて前年番への感謝状と記念品の贈呈に引き続き、新年番の講長・副講長への委嘱状が手渡されました。その後、参集殿にて新旧年番による引継式が行われまし

新年番講長・副講長ご紹介

令和六年度は第十八円山祭典区が敬神講社年番となり、例祭の渡御奉仕を頂きます。第十八円山祭典区の代表委員長並びに代表委員は次の通りです。(敬称略)

	第十八円山祭典区代表委員長 敬神講社 講長 三上 恒
	第十八円山祭典区代表委員 敬神講社 副講長 中村 啓
	第十八円山祭典区代表委員 敬神講社 副講長 安澤 和展
	第十八円山祭典区代表委員 敬神講社 副講長 三上一彦

た。これにより令和六年度の札幌まつりが本格的に始動することになります。

幣饌料御奉納奉告祭

天皇・皇后両陛下には「第四十二回全国豊かな海づくり大会」に御臨席併せて地方事情御視察のため、九月十六日(土)から十七日(日)にかけて北海道に行幸啓遊ばされました。それにあたり、両陛下には道内の旧官国幣社並びに旧指定護国神社へ幣饌料を供えられました。

北海道神宮では九月二十日(水)の旬祭並びに興風会献詠祭にあわせ、幣饌料御奉納奉告祭を齋行いたしました。



豊栄の舞

明治祭

北海道神宮では道民の強い願いのもと、御祭神の一柱として明治天皇をお祀りいたしております。明治天皇は近代日本の礎を築かれ、北海道開拓にも御心を砕かれました。明治天皇の誕生日にあたる十一月三日、その御聖徳を仰ぎ明治祭を齋行いたしました。祭典では、明治十四年に行われた北海道御巡幸の折りに聞き召された開拓使麦酒醸造所(現サッポロビール株)の往時の味わいを再現した「開拓使麦酒」を明治祭の神饌としてお供えいたしました。



悠久の舞

第四十五回 北海道神宮少年剣道大会

九月二十三日(土・祝)秋分の日、北海道神宮剣道大会が行われました。結果は次の通りです。

3位	準優勝	優勝	出場数	
真駒内少年剣道会	剣友会	札幌 月寒剣道	48チーム	小学生団体
木村ゆら少年剣道クラブ	高野 剣友会	札幌 植根華絆	64名	小学生個人
真駒内少年剣道会	月寒 剣友会	札幌 若草スपोर्टス少年剣道クラブ	28チーム	中学生団体
真駒内少年剣道会	若生 真桜	札幌 遠藤 若草スपोर्टス少年剣道クラブ	53名	中学生個人



少年剣士達

第五十三回 写生大会表彰式

九月二日(土)に写生大会が行われ、百二十点応募作品があり厳正なる審査の結果、その中より入賞作品が決定されました。

十月九日(月・祝)午後二時より北海道神宮参集殿で入賞作品の表彰式が行われました。応募作品は十月一日(日)より十一月三日(金・祝)まで東回廊で展示されました。



表彰状授与

受賞者の方々をご紹介します。(敬称略)

〔神社本庁統理賞〕 1点
札幌市立栄南中学校 一年 鶴田 惺那

〔北海道神宮宮司賞〕 2点
札幌市立桑園小学校 二年 三浦 嘉乃
平和幼稚園 六歳 とおやましゅうま

〔北海道新聞社賞〕 2点
札幌市立北野中学校 二年 青山 椿
札幌市立資生館小学校 四年 縄 乃々香

〔ぺんてる賞〕 3点
札幌市立太平中学校 一年 岡 奈波穂
札幌市立小野幌小学校 三年 大溝 航
札幌市立発寒西小学校 一年 なかしまひな

〔金賞〕 8点
札幌市立向陵中学校 二年 大川 原羽南
札幌市立栄南中学校 二年 佐藤 みひろ
札幌市立北辰中学校 二年 山岸 紗和子
札幌市立発寒南小学校 四年 山内 咲江
札幌市立琴似小学校 三年 鶴沼 美考
札幌市立小野幌小学校 二年 小西 結月
札幌市立小野幌小学校 一年 大溝 実莉
西野 保育園 五歳 宮本 実莉

〔銀賞〕 8点
北海道教育大学附属札幌中学校 三年 三浦 知花
札幌市立あいの里東中学校 二年 加藤 有香
札幌市立新川中央小学校 五年 木田 香
札幌市立中央小学校 四年 井上 椿
札幌市立円山小学校 四年 藤田 琴音
札幌市立福住小学校 二年 さかいだみお
札幌市立札幌苗小学校 一年 さかいだみお
光塩学園女子短期大学附属認定こども園 五歳 西塚 友里乃

〔入選〕 18点
札幌市立北辰中学校 三年 下間 彩郁
札幌市立栄南中学校 二年 橋本 絵夢
札幌市立北辰中学校 二年 梅田 遥菜
札幌市立太平中学校 一年 山本 知宙
札幌市立本町小学校 六年 さかしたにこ
札幌市立緑丘小学校 五年 松村 真綾
札幌市立北野平小学校 五年 宮本 菜花
札幌市立資生館小学校 四年 小林 岳
札幌市立円山小学校 四年 森 はるか
札幌市立藻岩北小学校 二年 さとう ゆうか
札幌市立桑園小学校 一年 おおとも たける
札幌市立三角山小学校 一年 根本 菜舞
札幌市立栄南小学校 一年 吉本 妃菜
打越 園 五歳 打越 ひなた
横山 園 五歳 横山 ひなた
柳田 園 三歳 柳田 ひなた

〔銅賞〕 15点
札幌市立栄南中学校 二年 大畑 比菜
札幌市立太平中学校 一年 橋内 友里
札幌市立栄南中学校 一年 櫻井 あお美
札幌市立栄南中学校 一年 佐藤 希美
札幌市立栄南中学校 一年 戸澤 梨
札幌市立宮の森小学校 六年 大川 原羽音
札幌市立あいの里西小学校 六年 加藤 葉月
札幌市立北光小学校 四年 三箇 結
札幌市立日新小学校 四年 森田 深結
札幌市立札幌わかば小学校 二年 小笠原 ゆずは
札幌市立宮の森小学校 二年 山中 千路
札幌市立三角山小学校 一年 山崎 海
札幌市立三ツツ聖園こどもの家 四歳 カトリック聖園こどもの家 四歳

神社本庁統理賞



札幌市立栄南中学校 (1年) 鶴田 惺那

北海道神宮宮司賞



札幌市立桑園小学校 (2年) 三浦 嘉乃

北海道神宮宮司賞



平和幼稚園 (6歳) とおやましゅうま

北海道新聞社賞



札幌市立北野中学校 (2年) 青山 椿

北海道新聞社賞



札幌市立資生館小学校 (4年) 縄 乃々香

ぺんてる賞



札幌市立太平中学校 (1年) 岡 奈波穂

ぺんてる賞



札幌市立小野幌小学校 (3年) 大溝 航

ぺんてる賞



札幌市立発寒西小学校 (1年) なかしまひな

(敬称略)

第六十五回 献菓祭

十月二十五日(水)午前十一時より献菓祭が北海道神宮銘菓奉献会会長長沼昭夫氏を始め、二十二名の会員参列のもと斎行されました。御神前には全道各地の会員より銘菓が奉献されたほか、神門内テントでも十月二十五日(水)から十月二十九日(日)の期間展示されました。

また、十月二十八日(土)にはボーイスカウト札幌第一団カブスカウト隊が、翌二十九日(日)にはガールスカウト北海道第八団による野点が行われました。



奉献された全道の銘菓

〈所在〉	〈奉献菓名〉	〈会社名〉	〈代表者名〉
札幌市	くず餅	(株)一もち処 一久大福堂	久木 利弘
留萌市	にしんパイ	留萌 一久庵	高田 英雄
札幌市	オレンジ・ケーキ	欧風菓子モン・ジェリ	守屋 博光
稚内市	流水まんじゅう	(有)菓子処 小鹿	小鹿 卓司
伊達市	伊達かぶとまんじゅう	(有)菓子処 久保	久保 武士
北見市	ほっちゃん	菓子処 ますきた (有)きたぐち	中村 寿志
旭川市	北海道黒豆どら	菓子処 みつや	北口 潤
札幌市	梅園もなか	(株)菓子処の樹	今野 一
札幌市	焼ドーナツ	(株)川西クレイスフーズ	田中 英雄
札幌市	十勝 田舎しるこ	ケイキショップ あかね	川西 常夫
札幌市	マドレーヌ	(株)五勝手屋本舗	長沼 昭夫
札幌市	五勝手屋羊かん	(株)五島軒	大窪 和巳
函館市	縄文サンド	(株)三葉製菓(株)北かり	小笠原 敏文
札幌市	蜂蜜キャラメルワッフルタンク・ウ!	株式会社COC	若山 豪
旭川市	天然酵母春ゆたか	(有)シヤトルス	水之上 崇
札幌市	神宮茶屋餅	(株)シヤルロツト	長沼 真太郎
札幌市	焼菓子詰合	(株)白松がモナカ本舗	中川 仁
札幌市	くるみとレーズン	(有)未廣庵	吉本 晋治
札幌市	白松がモナカ	(有)未廣軒	白松 一郎
木古内町	孝行餅	(株)清月	竹田 光伸
北斗市	ざーしーほつきーモナスク	(株)清月	佐々木博史
北見市	赤いサイロ	千秋庵製菓(株)	渡辺 主人
札幌市	山親爺	高砂屋菓子舗	中西 克彦
紋別市	ソイスweet	竹屋製菓(株)	渡邊 孝博
帯広市	銘菓そばやき	中栄菓子舗	鈴木 培弘
旭川市	き花	(株)壺屋総本店	村本 暁宣
旭川市	親子熊羊羹	永田製餅(株)	中澤 利彦
せたな町	ハッカ飴	中ノ目製菓(株)	永田 泰之
北見市	十勝金時甘納豆	(株)新倉屋	新倉 正三
小樽市	石倉くるみ餅	(株)はこだて柳屋	若杉 充宏
函館市	ロマネスク両館	(株)富留屋	古谷 公億
室蘭市	バターせんべい	(株)ホリ	堀 太一
砂川市	夕張メロンピュアゼリー	(株)マサル	古谷 健
札幌市	シヨコラブラウニー	(株)まるぶん(峰旬)	嵐 隆将
札幌市	どら焼	(株)美好屋	竹林 和俊
札幌市	お供え餅	(有)八木菓子舗	八木 一洋
札幌市	元祖三石羊羹詰合	(株)柳月	田村 英祐
新ひだか町	きなごころも	(株)六花亭	小田 文英
帯広市	ひとつ鍋	(株)わかさいも本舗	若狭 洋市
帯広市	わかさいも	(株)わらく堂	関根 健石
洞爺湖町	わかさいも		
札幌市	幸 サチ		

新嘗祭並びに新穀勤労感謝祭

十一月二十三日(木・祝)午前十時、古来より我が国において重要な神事とされている新嘗祭並新穀勤労感謝祭が、二六四名の参列のもと、海川山野の幸を捧げ、北海道神宮神饌田奉斎会を始め、農業・商工業・漁業・林業・酒造の各団体代表者が幣帛を献じ、厳肅裡に斎行されました。

祝詞奏上の後、北海道農業協同組合中央会代表理事会長樽井功氏が豊作感謝の祭詞を奏上しました。御神前には北海道神宮神饌田より収穫された「ゆめぴりか」十俵をはじめ、多くの方々より奉納されました品々が供えられ、JAさっぽろと北海道神宮校祇講によって奉納された野菜各種の船盛が神門前並びにご神前に飾られました。

尚、毎年恒例となっておりました新穀勤労感謝祭即売会は出店してございました各団体の都合により中止となりました。



祭文奏上



玉串を奉り拝礼



神門前の船盛

大注連縄保存同志会 北海道文化財保護功労者 表彰を受ける

当宮神門の大注連縄をご奉納いただいている中富良野町の大注連縄保存同志会(中富良野俵御輿同志会)が、十一月十日、北海道文化財保護協会より第五十九回北海道文化財保護功労者表彰を受けました。

大注連縄保存同志会は昭和三十四年より、おおよそ四年ごとに当宮神門の大注連縄を製作・奉納をして下さっており、現在神門にかけられているのは令和五年三月十八日にご奉納いただいたものです。



令和5年の奉納

第六十五回北海道神宮銘菓奉献会「献菓祭」に奉納頂きました皆様方をご紹介致します。数々のご奉納ありがとうございました。(敬称略・順不同)

職場体験学習

札幌市立太平中学校の四名の生徒が職場体験学習を行いました。生徒たちは巫女装束を身に着け授与所を中心に奉仕し、様々な疑問を現職の巫女に質問し理解を深めていきました。最初は緊張した様子でしたが、終わる頃には活き活きと奉仕し、笑顔も見せる場面がありました。



太平中学校2年生の生徒4名

北海道神宮頓宮

例祭

令和五年九月十七日(日)午前十一時、北海道神宮頓宮の例祭並びに発輿祭が北海道神宮敬神講社、第七東祭典区、北海道神宮一日講社をはじめ氏子崇敬者多数のご参列の中、厳粛に斎行されました。

本年は神輿会北海道陸より頓宮に奉納された大神輿による初めての渡御が行われることとなり、新たに設立された頓宮の氏子組織である「神輿会頓宮」と、全国各地から集まった神輿会総勢約三〇〇名の奉仕にて、宮出しが行われました。

渡御中には二条市場に於いて、北海道農工木工業連合会による木遣り・纏ふり・梯子のりが行われました。また、大神輿と同時に頓宮子供神輿も町内をまわっていた為、すれ違う度にお互いに声をかけ合う姿は、とても微笑ましく、年令も関係なく神輿を通し、心が一つになっっている時間を感じました。

宮入りは境内一杯の参拝者に迎えられ、神輿は滞りなく頓宮にお還りになりました。

新型コロナウイルス感染症が概ね収束して久しぶりの「頓宮さん」本来のお祭りとなり、奉納された大神輿の渡御も加わり、以前にも増して地域の方々との繋がりが深まり、多いに賑わった例祭となりました。



大神輿



纏ふり

奉賛会だより



年頭の辞

北海道神宮奉賛会
会長 岩田 圭剛

明けましておめでとうございます。令和六年の新春を迎え、心よりお慶び申し上げます。昨年は新型コロナウイルス感染症が五類に移行し、徐々にコロナ禍前の日々が戻ってきているように感じますが、一方で世界の情勢は未だ安定せず、国内においても物価の高騰など安心した生活とは言いがたいように感じます。

そのような中でも道内に於いてはエスコンフィールドHOKKAIDOの完成や、ラピダスの新工場建設地に千歳が選ばれる等、経済面での大きな動きが見受けられます。また、北海道新幹線延伸に伴う札幌駅周辺の再開発も着実に進んでおり、経済活動の活性化により、私たちの生活がより良くなることを期待するところです。また、旭川市出身の北口榛花選手の世界陸上での活躍は道民として誇らしく、大きな感動を与えてくれました。このような様々な感動を活力として、この新しい年を佳き年として参りたいと存じます。

本年は、北海道神宮に明治天皇が御増祀されてより六十年の佳節を迎えることとなり、また、北海道・札幌の礎を築かれた開拓判官島義勇が歿してより百五十年の節目の年でもあります。これを機に、先人達が歩んで来られた足跡に思いを致し、受け継がれてきたこの豊かさを次の世代へと伝えていけるよう、神明の御加護を願い、会員の皆様と共に北海道神宮に対する奉賛活動に一層励んで参りたく存じております。

昨年は奉賛会事業と致しまして、対面での総会を五月十三日に盛會裡に開催することができ、また、十月二十九日には境内清掃奉仕も六十二名の会員ご参加のもと、開催することができましたことは、会員皆様のご協力によるものと感謝申し上げます。

本年につきましても会員の皆様におかれましては、奉賛会事業に格別のご高配とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。御祭神のご加護のもと、ご健勝にてお過ごしになりますようお願い申し上げます。年頭の辞とさせていただきます。

◆新入会員・協賛者のご紹介

当会へのご入会・ご協賛を頂きまして、まことに有り難うございます。令和五年九月一日から十一月十五日までのご入会の方、また会費以外にご協賛頂きました方のご芳名をご報告致します。お名前漏れ等がございましたら、お手数ですが事務局までご連絡下さい。(敬称略・順不同)

新入会員のご紹介

高橋和規	長谷川好道
時崎良一	榎山越組
小南千恵美	山越早苗
㈱ランタイムミュージック	岡崎哲也
エンタテインメント	岡崎ちさと
大和久美子	坪井恵美
川上輝	谷平季隆
大塚やこ	野上彰二
安達かおり	鈴木笑子
星七重	和田敏裕
小塚雅志	

協賛者のご紹介

◇二万円 ◇一万五千元
谷口和男 中居俊悦

第三十六回 境内清掃奉仕

北海道神宮奉賛会の恒例行事であります。境内の清掃奉仕が十月二十九日(日)に六十二名の皆様の参加を頂き行われました。

神酒拝戴中止のお知らせ

初詣の神門内神酒所での神酒拝戴は中止となります。ご理解とご協力のほど宜しくお願い申し上げます。